

# 新型コロナウイルス感染症に係る本学の対応について

## ～活動状況・感染予防対策・入構制限措置等～

### 大妻女子大学

#### I 活動状況について

##### 1 授業・教育活動

10月8日（金）ホームページ掲載の「学長からのメッセージ」および同日にUNIPAに配信したお知らせのとおり、10月18日（月）から、対面を主体とした授業形態（令和3年度の通常授業形態）となります。

以下の掲載内容は4月の今年度授業開始時のものから大きな変更はありませんが、再度、ご確認ください。

令和3年度の授業は対面主体（科目全体の8割程度）で実施します。受講者数が非常に多い講義科目を中心に全体の2割程度の科目をオンライン授業（オンデマンド型）とし、また、実験・実習など特殊教室を使用する授業を除き原則教室定員の50%を上限とするなど、感染対策を講じています。また、基礎疾患や持病等があり新型コロナウイルスに感染した場合に重篤化する危険性が高い等、登校して対面授業を受けることが難しい学生に対する特別措置制度を設けています。

オンライン授業（オンデマンド型）の科目は、千代田校では授業時間割表で通常授業が実施されない7時限目以降の枠に表示されている科目で、「代表教室」欄に「online」と記載されています。多摩校では1～5時限に配当されており、「代表教室」欄に「Tonline」と記載されています。

オンライン授業（オンデマンド型）はZoom等を使用したリアルタイム授業ではなく、学生が任意の時間帯に受講できる形式としています。授業日の17時までに（多摩校では配当されている時限までに）「manaba（授業支援システム）」に授業担当者からの教材・課題指示等が掲載されますので、授業当日または翌日に自宅のパソコン等で確認してください。なお、大学院の一部科目（及び多摩校の一部科目）においてはリアルタイム型のオンライン授業を実施する場合がありますので、授業担当者の指示に従ってください。

なお、学内での対面授業を受講する際は、以下に注意してください。

- ・各教室に手指消毒液を設置していますので、入退出時に使用してください。
- また、机等を消毒したい場合はティッシュ等に含ませて使用してください。

- ・受講時の密状態の回避のため、講義室等の一部では教室内の約半分の机に着席不可のシールを貼付していますので、その席は使用しないでください。  
(各席をパーテーションで仕切っている情報処理教室は全席使用可能です。)
- ・着席不可のシールが貼付されていない教室でも間隔を空けて着席し、なるべく密接を避けてください。
- ・換気により教室内の温度が変化する場合がありますので、各自で衣類による温度調節をお願いいたします。
- ・対面授業においても「manaba（授業支援システム）」に授業担当者から教材・課題等が配信される場合があります。授業担当者の指示に従い、各自で確認してください。

### 【空き教室の使用について】

令和3年度は一部科目をオンデマンド型で実施することを考慮し、空き教室の一部を自習用（オンデマンド授業の資料閲覧・課題作成等を含む）としての使用を認めます。

空き教室の使用にあたっては、感染防止のため以下のルールを厳守してください。

- ①密状態にならないように分散して使用してください。  
(着席不可のシールが貼付されている席は使用しないでください。)
- ②教室内での私語は禁止します。
- ③各教室に手指消毒液を設置していますので、入退出時に使用してください。  
また、机等を消毒したい場合はティッシュ等に含ませて使用してください。
- ④個人のノートPC、スマートフォン等を持ち込利用する場合は、自宅で十分な充電をしておいてください。
- ⑤動画再生など、音が出る場合は各自ヘッドフォン（イヤフォン）を持参してください。

使用できる教室はキャンパス毎に異なりますので、下記を参照してください。

#### <千代田キャンパス>

##### [情報処理自習室]

情報処理自習室は、E棟地下1階、H棟地下1階にあります。

利用日程、時間、詳細については下記のURLをご確認ください。

<https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media>

##### [Wi-Fi使用可能教室]

各時間帯の空き教室をUNIVERSAL PASSPORT（UNIPA）で確認できます。UNIPAトップページ「学内リンク集」に掲載されているUNIPAマニュアルの「掲示・ポータル機能について」－「4.ポータル機能について」－「2.教室の空き状況を確認する」を参照してください。

※千代田校の学内Wi-Fiの使用法等は、下記を参照してください。

[https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media/cc/pc/kotaka\\_wifi/index.html](https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media/cc/pc/kotaka_wifi/index.html)

#### <多摩キャンパス>

##### [情報処理自習室]

情報処理自習室は4号館（図書館棟）2階にあります。

利用日程、時間、詳細については下記のURLをご確認ください。

<https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media>

#### [Wi-Fi使用可能教室]

オンライン科目を学内で受講する場合はUNIPA配信の「オンライン授業教室一覧表」記載の配当教室を使用してください。

ただし、Wi-Fi環境が整っていない教室が配当されている場合があります。状況に応じてラウンジなどの共有スペースをご利用ください。

※多摩校の学内Wi-Fiの使用法等は、下記を参照してください。

[https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media/tc/pc/kotaka\\_wifi.html](https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media/tc/pc/kotaka_wifi.html)

## 2 研究活動

昨年度実施しました事前申請制は休止しますが、感染拡大防止のため、学内への滞在時間はできるだけ短くするようにご協力をお願いいたします。

## 3 課外活動

大妻女子大学課外活動実施要領に基づき、新型コロナウイルス感染症感染防止対策をふまえた対面による課外活動を再開しています。

課外活動実施要領では、活動日の2週間前までに計画書を提出し、活動終了の翌日には報告書を提出します。事前および事後の体調管理（検温等）を徹底して、活動日には実施要領に指定されたもの、および各団体が設定した感染防止対策を実行しながら、感染防止に高い意識をもって取り組んでください。

## 4 窓口業務

事務室は感染防止に配慮しつつ通常通りの時間帯で開室します。

なお、事務室カウンターには飛沫防止用のアクリルパネルを設置しています。

### 【証明書自動発行機】

- ・在学生については、通常どおりの取り扱いとなります。

<https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/notification/certificate-enrolled/>

- ・卒業生の方は郵送によるお申込みを推奨いたします。

詳細については大学ホームページにある在学生、卒業生の各種証明書ページをご覧ください。

<https://www.otsuma.ac.jp/career/graduate/graduate-notification/>

## 5 施設貸出

教育・研究目的で、教室等の貸出が可能です。利用に当たっては、利用者が十分に間隔を確保できるよう、利用人数が収容人数の半分以下となるような教室等を予約するとともに、消毒・換気及びソーシャルディスタンスの確保に留意してください。

※外部貸出については、下記HPをご確認ください。

TOP>地域連携・社会貢献>地域連携>施設借用の申し込み

[https://www.otsuma.ac.jp/society/cooperation/application\\_facility/](https://www.otsuma.ac.jp/society/cooperation/application_facility/)

## 6 学内会議

教職員は、感染拡大防止に留意した上で、対面会議を実施することができます。ただし、オンライン会議または文書会議も積極的に活用してください。

## II 感染予防対策について

### 1 本学の感染拡大予防対策

安心して施設設備をご利用いただけるよう、清掃・消毒作業、換気強化、飛沫防止対策等を中心に、可能な限り対策を講じています。なお、今後の状況に応じ、対策内容を変更することがあります。

#### (1) 清掃・消毒

- ・建物の入口及び建物内各所に手指消毒液を設置しています。
- ・教室やトイレ、エスカレーターや階段の手すり、スイッチ類等、多くの人が触れる場所を含め、建物内を定期的に清掃・消毒しています。

#### (2) 換気

- ・各教室は、法令で定められた基準を満たすよう換気システムにより自動で換気していますが、適宜、窓・ドア開放による換気をお願いします。
- ・換気のため、温度・湿度ともに快適な環境が保てないこともありますが、御了承ください。

#### (3) 飛沫防止

- ・学内各所の窓口に飛沫防止のためのアクリルパネル等を設置しています。
- また、マスク着用に加え、実験などの授業では、フェイスシールドを着用する場合があります。

#### (4) オープンスペース等の利用

- ・学内のオープンスペース（共用部）に設置されているベンチやテーブル等については、感染防止のため、アクリルパネルの設置或使用禁止または座席数等の制限を行っています。
- また、原則として、冷水器・製氷機及びハンドドライヤーの利用を停止しています。

#### (5) エレベーター・エスカレーターの利用

- ・エレベーター内は、密になりやすいため、可能な限り階段やエスカレーターを利用して移動してください。また、エレベーター、エスカレーターに乗る場合は、密にならないよ

う、間隔をあけて乗ってください。

- ・エレベーター、エスカレーターは、定期清掃・消毒を実施していますが、不特定多数がボタンや手すりに触れる可能性があるため、利用後はこまめな手洗いを推奨します。

#### (6) 接触確認アプリ「COCOA」インストールの推奨

- ・厚生労働省が提供する、感染者等との接触通知アプリ「新型コロナウイルス接触確認アプリ」（略称「COCOA」）のインストールと活用を強く推奨します。

感染者との接触通知があった場合は、自身の症状等を確認するとともに、アプリの指示に従って、適切に「受診・相談センター」への連絡等を行ってください。

##### ■アプリのインストール方法（厚生労働省HP）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

#### (7) 健康・行動履歴の記録の推奨

- ・万一、陽性者や濃厚接触者として特定された場合に、自身の健康・行動履歴を確認できるよう、各自のスマートフォンや手帳等に、健康・行動履歴（自身の体調、出席した授業、利用した施設、食事やその他の行動を共にした友人等）を記録しておくことを推奨します。

## 2 日常のコロナ対策等について

### (1) 教職員の場合

大学HP掲載の新型コロナウイルス感染症の対応について（出勤時の注意事項等）をご確認ください。

[https://www.otsuma.ac.jp/news\\_other/school/60905/](https://www.otsuma.ac.jp/news_other/school/60905/)

### (2) 学生の場合

大学HP掲載の健康センターからのお知らせをご確認ください。

[https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/supports/health/health\\_center/](https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/supports/health/health_center/)

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会から、次の「5つの場面」において、感染リスクが高まることが報告されています。

可能な限りこれらに該当する場면을避けることで、自身への感染を防止するとともに、家族や友人等の健康を守ることに繋がると考えられます。日常生活を過ごすうえでの参考としてください。

#### ① 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。

- ・ 回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
  - ・ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
  - ・ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。
- ③ マスクなしでの会話
  - ・ マスクなしに近距離で会話をするので、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
  - ・ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
  - ・ 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。
- ④ 狭い空間での共同生活
  - ・ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
  - ・ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。
- ⑤ 居場所の切り替わり
  - ・ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
  - ・ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

■ 内閣官房HP（感染リスクが高まる「5つの場面」）

<https://corona.go.jp/proposal/>

「濃厚接触者」は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。ウイルスがうつる可能性がある期間（発症2日前から入院等をした日まで）に接触のあった方々について、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断します。

濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従ってください。濃厚接触者は、感染している可能性があることから、感染した方と接触した後14日間は、健康状態に注意を払い（健康観察）、不要不急の外出は控えてください。

■ 厚生労働省HP（新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け））

3-問3 濃厚接触者とはどのような人でしょうか。濃厚接触者となった場合は、どのようなことに注意すればよいでしょう。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html)

### 3 海外渡航及び帰国

#### (1) 渡航について

外務省の定める危険情報及び感染症危険情報における危険レベル3の国及び地域への渡航は止めてください。また、危険レベル2の国及び地域への渡航は自粛してください。

##### ■ 外務省HP

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

##### ■ 文部科学省HP

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html)

#### (2) 入国について

海外から入国する場合、空港における検疫が強化されておりますので、担当官の指示に従い、対応してください。日本への入国には、国籍を問わず、以下のことが必要になります。

##### ① 検査証明書の提示について

- ・ 検疫所へ「出国前72時間以内の検査証明書」の提示が必要です。「出国前72時間以内の検査証明書」が提示できない場合、検疫法に基づき、日本への上陸が認められないこととなります。
- ・ 検査証明書の様式は所定のフォーマットを使用して下さい。
- ・ 所定のフォーマット使用することが困難な場合には、任意のフォーマットの提出も妨げられませんが、「検査証明書へ記載すべき内容」が満たされている必要があります。
- ・ また、有効な検体、検査方法等が記載された検査証明書のみ有効と取り扱います。
- ・ 出発地で所定フォーマットによる検査証明書を取得できない等の特別な事情がある場合には、出発地の在外公館に前広にご相談願います。

##### ② 検疫所が確保する宿泊施設での待機・誓約書の提出について

- ・ 日本入国前に滞在した国・地域に応じて、検疫所が確保する宿泊施設で待機し、検査を受けていただきます。
- ・ 検疫所へ「誓約書」の提出が必要です。14日間の公共交通機関の不利用、自宅等での待機、位置情報の保存・提示、接触確認アプリの導入等について誓約いただくこととなります。「誓約書」が提出できない場合、検疫所が確保する宿泊施設等で待機していただきます。誓約に違反した場合は、検疫法に基づく停留措置の対象となり得るほか、日本人については、氏名や、感染拡大防止に資する情報が公開され得ること、在留資格保持者については、氏名、国籍や感染拡大防止に資する情報が公開され得ること、また、在留資格取消手続及び退去強制手続等の対象となり得ることがあります。

##### ③ スマートフォンの携行、必要なアプリの登録・利用について

- ・ 誓約書の誓約事項を実施するため、位置情報を提示するために必要なアプリ等を利用できるスマートフォンの所持が必要となります。検疫手続の際に、必要なアプリを利用できるスマートフォンの所持を確認できない方は、入国前に、空港内でスマートフォンをレンタルしていただくよう、お願いすることとなります。
- ・ 必要なアプリとその利用方法は厚生労働省のサイトでご確認ください。日本入国前

に、インストールまで完了していただくようお願いします。

④ 質問票の提出について

- ・ 入国後14日間の健康フォローアップのため、検疫時にメールアドレス、電話番号等の連絡先を確認します。日本国内で入国者ご本人が使用できるメールアドレス、電話番号を質問票に必ず記載してください。
- ・ 質問票は質問票WEBより回答し、QRコードを作成してください。QRコードはスクリーンショットまたは印刷し、検疫時に提示をしてください。

⑤ ワクチン接種証明書保持者に対する入国後・帰国後の待機期間について

- ・ 国内外でワクチンの接種が進展しつつあることを踏まえ、検疫所が確保する宿泊施設にて6日または10日間の待機対象となっている指定国・地域以外の国・地域から入国・帰国し、かつ、外務省及び厚生労働省にて有効と確認したワクチン接種証明書を保持する方については、入国後14日目までの自宅等での待機期間中、入国後10日目以降に改めて自主的に受けた検査（PCR検査又は抗原定量検査）の陰性の結果を厚生労働省に届け出るにより、残りの期間の自宅等での待機を求めないことになりました。
- ・ また、検疫所が確保する宿泊施設にて3日間の待機対象となっている、水際対策上特に対応すべき変異株に対する指定国・地域及び水際対策上特に対応すべき変異株以外の新型コロナウイルスに対する指定国・地域から入国・帰国し、かつ、外務省及び厚生労働省にて有効と確認したワクチン接種証明書を保持する方については、検疫所が確保する宿泊施設での待機を求めないことになりました。これらの措置は令和3年10月1日午前0時以降に入国・帰国される方を対象に実施されます。

■ 厚生労働省HP

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

### Ⅲ 入構制限措置について

#### 1 キャンパスへの入構制限措置について

(1) 入構が認められる者

- ① 学生（対面授業に参加する者及び大学が許可した一部施設を利用する者に限る）
- ② 教職員（嘱託・派遣職員を含む）
- ③ 各キャンパス常駐業者及びその他関係業者
- ④ 進学相談・見学に来た受験生（事前予約制）

(2) 学生が利用可能な施設

学生については、対面授業に参加する場合は、大学施設を利用することができます。そのほか、図書館等、学内の一部施設の利用も可能です。各施設の利用方法、利用時間、利用対象者等について、通常時と異なりますので、詳細については必ず各HP等を確認してください。

また、感染していても無症状である場合も多く、知らぬ間に他人に感染を拡大させてしまう可能性もあります。授業参加や施設利用の目的で登校した場合であっても、感染防止の観点から、用件が終了した後は速やかに帰宅し、学内はもとより学外においても飲食を伴う懇親会等を行うことについては、強く自粛を要請します。

○ 図書館

■ 図書館HP

図書館の開館時間など最新の情報は下記のURLをご確認ください。

<https://www.sjc.otsuma.ac.jp/lib>

○ 博物館

■ 博物館HP

<https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

○ 学生相談センター

■ 学生相談センターHP

<https://www.gakuseisoudan.otsuma.ac.jp/>

(大学HP内)

<https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/supports/health/gakuseisoudan/>

○ メディア関連施設（情報処理自習室について）

■ 千代田キャンパス

情報処理自習室は、E棟地下1階、H棟地下1階にあります。

利用日程、時間、詳細については下記のURLをご確認ください。

<https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media>

■ 多摩キャンパス

情報処理自習室は4号館2階にあります。

開室日程・時間など詳細についてはHP、UNIPA、掲示等でお知らせいたします。

<https://www.sjc.otsuma.ac.jp/media>

○ 研究室等

個人研究室、共同研究室等を訪問する際は、各学部の指示に従ってください。

(3) 入構時遵守事項

① 自宅で検温し、体調に不安が無いことを確認のうえ、入構してください。

概ね37.5度以上の熱がある場合または体調に不安がある場合は入構せず、学生は所属キャンパスの健康センター、教職員は所属キャンパスの健康管理室に連絡ください。

② 施設等への入構時及び入構中は、マスクを着用してください。

③ 入構の際には、各施設等の入口に設置されている消毒液を利用するとともに、入構後

もせっけんによる手洗いを励行してください。

④ サーモカメラの設置について

**多摩キャンパス**

正門守衛所横の回廊に、サーモカメラを設置しています。

誘導案内サインに従い、正門から回廊を通り入構してください。

37.5℃以上の場合 ⇒ カメラから警報音が鳴動

その場でお待ちください。警備員の誘導後、健康センターまたは健康管理室にて体温計で再度検温します。（コロナウイルス感染が疑われる場合は、ご帰宅をお願いします）

⑤ 入構後に体調に不安を感じた場合は、決して無理をせず直ちに帰宅してください。

⑥ 施設等への入構時及び入構中は「3密」を避け、ソーシャルディスタンス（2m以上）の確保に留意してください。

⑦ 飛沫感染防止のため、不要な雑談等は控えるとともに、物理的な接触や物の受け渡しによる接触感染リスクを減らすようにしてください。

⑧ 入構後2～3日以内に発熱や風邪の症状を認めた場合は、健康センターや健康管理室に連絡してください。

## 2 福利厚生等

### (1) 学生食堂

【千代田キャンパス】10月18日（月）から営業を再開します。

【多摩キャンパス】通常営業しています。

<https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/facilities/cafeteria/>

手指消毒の遵守、会話を控え、食事後は速やかに次の方へ交代をしていただくよう、ご協力をお願いいたします。特に、マスクを外した状態での会話は慎んでください。

### (2) 館内での飲食

館内は所定の場所を除き、原則として飲食が禁止されています。また、対面での飲食を避ける、会話を控えるなど、各自で飛沫感染防止に留意してください。

## IV その他

### 1 大学からのお知らせについて

大学からのお知らせは主としてポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」、本学ホームページに掲載しますので、定期的に確認してください。（詳細は「学生生活の手引き」の「Ⅲ キャンパスライフ」－「5 大学からの連絡・通知」を参照してください。）

### 2 個人情報の取り扱いについて

感染者等に対する誹謗中傷、混乱を生む不確かな情報の発信、SNSでの拡散を禁止します。感染者、濃厚接触者及びその家族等の人権尊重、個人情報への配慮に留意してください。